

平成27年度

# 事業報告書

一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

1 指定管理施設の運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	177,235	39,058	216,293
東区体育館※1	125,083	33,232	158,315
白石区体育館	145,229	33,490	178,719
厚別区体育館	118,417	41,568	159,985
清田区体育館・温水プール	236,289	28,643	264,932
体育館	143,294	28,627	171,921
プール	88,923	16	88,923
体育館・プール共通	4,072	—	4,072
豊平区体育館	94,946	62,450	157,396
南区体育館	123,845	19,780	143,625
西区体育館・温水プール※2	252,548	28,427	280,975
体育館	109,350	27,997	137,347
プール	140,443	430	140,873
体育館・プール共通	2,755	—	2,755
手稲区体育館	127,151	31,680	158,831
中央体育館	68,587	83,804	152,391
中島体育センター	87,485	30,583	118,068
宮の沢屋内競技場	24,971	28,029	53,000
白旗山競技場	2,593	21,985	24,578
合計	1,584,379 (前年度 1,542,111 人)	482,729 (前年度 446,477 人)	2,067,108 (前年度 1,988,588 人)

※1 札幌市における改修工事のため8月3日から8月16日の間休館（競技室のみ）

※2 札幌市における改修工事のため8月1日から11月30日の間休館（体育館のみ）

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
東温水プール	140,364	5,926	146,290
白石温水プール	84,233	2,128	86,361
厚別温水プール	131,883	1,335	133,218
豊平公園温水プール※3	36,616	398	37,014
手稲曙温水プール	120,829	1,237	122,066
平岸プール	160,186	18,539	178,725
合計	674,111 (前年度 645,135 人)	29,563 (前年度 23,092 人)	703,674 (前年度 668,227 人)

※3 札幌市における改修工事のため8月16日から3月2日の間休館（全館）

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
美香保体育館 <sup>※4</sup>	32,949	55,708	88,657
体育館	—	—	—
スケート場	32,949	9,603	42,552
公園野球場	—	46,105	46,105
合計	32,949 (前年度 47,568人)	55,708 (前年度 104,604人)	88,657 (前年度 152,172人)

※4 札幌市における改修工事のため6月1日から10月31日の間休館（体育館のみ）

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	71,163	71,073	142,236
体育館	28,152	—	28,152
スケート場	43,011	71,073	114,084
月寒屋外競技場	1,978	17,578	19,556
ラグビー場	—	8,666	8,666
庭球場	—	8,222	8,222
弓道場	1,978	690	2,668
星置スケート場 <sup>※5</sup>	12,081	21,842	33,923
どうぎんカーリングスタジアム	—	44,123	44,123
合計	85,222 (前年度 84,783人)	154,616 (前年度 160,971人)	239,838 (前年度 245,754人)

※5 札幌市における改修工事のため6月1日から10月31日の間休館（全館）

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	26,276	283,781	310,057
野球場	—	147,116	147,116
陸上競技場	16,022	70,621	86,643
庭球場	—	59,425	59,425
補助競技場	—	6,619	6,619
スケート場	10,254	—	10,254
麻生球場	—	75,344	75,344
野球場	—	72,812	72,812
庭球場	—	2,532	2,532

厚 別 公 園	43,989	151,061	195,050
主 競 技 場	29,784	146,055	175,839
補 助 競 技 場	4,414	5,006	9,420
トレーニングルーム	9,791	—	9,791
合 計	70,265 (前年度 57,120 人)	510,186 (前年度 460,438 人)	580,451 (前年度 517,558 人)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
ス ポ ー ツ 交 流 施 設	116,094	954,786	1,070,880
屋 内 グ ラ ウ ン ド	86,580	911,467	998,047
屋 外 テ ニ ス コ ー ト	—	11,520	11,520
パ ー ク ゴ ル フ 場	29,514	189	29,703
屋 外 球 技 場	—	3,699	3,699
イ ベ ン ト 広 場	—	27,911	27,911
合 計	116,094 (前年度 114,321 人)	954,786 (前年度 799,461 人)	1,070,880 (前年度 913,782 人)

キ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
藤野野外スポーツ交流施設	876,614	290	876,904
夏 季 利 用	7,306	—	7,306
ス キ ー 場	869,308	—	869,308
リ ュ ー ジ ュ 競 技 場	0	290	290
合 計	876,614 (前年度 821,545 人)	290 (前年度 256 人)	876,904 (前年度 821,801 人)

(単位：人)

体 育 施 設 合 計	5,627,512
-------------	-----------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施 設 名	個 人 利 用	専 用 利 用	合 計
中央健康づくりセンター	106,799	—	106,799
西健康づくりセンター	156,298	—	156,298
東健康づくりセンター	48,242	—	48,242
合 計	311,339 (前年度 306,521 人)	—	311,339 (前年度 306,521 人)

(3) 札幌国際交流館の利用状況（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	66,782	23,100	89,882
プール	40,645	29	40,674
体育室	26,067	7,847	33,914
総合	70	—	70
ライラックホール	—	15,224	15,224
合計	66,782 (前年度 69,619人)	23,100 (前年度 21,295人)	89,882 (前年度 90,914人)

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	6,028,733
前年度利用者数	5,705,317
増減	323,416

2 学校施設の開放事業/受託事業

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	171	36	15	16	238
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	620,941	23,431	13,224	22,798	680,394

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	111	2	113
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	634,684	2,022	636,706

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プール
開放校数	196
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	59,410

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	1,376,510
---------	-----------

### 3 地域スポーツ普及振興事業 (5,818 事業 131,741 人)

#### (1) スポーツ教室事業 (5,629 事業 90,001 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「体操教室」や「ヒップホップダンス」のほか、北区体育館や白石区体育館では、運動会に向けた「かけっこ教室」を新規開講するなど、多種多様な種目の教室を開講し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した (5,376 事業 80,145 人)。

また、高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との「げんきキッズ」や日本ランニング機構との「さっぽろアスレティクスアカデミー」(41 事業 731 人)を継続実施するとともに、藤野野外スポーツ交流施設を拠点とした「新緑ウォーキング(豊平峡ダム)」や「ニセコチセヌプリ登山」などのアウトドア講習会(31 事業 433 人)、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「バドミントン教室」(9 事業 197 人)、「歩くスキー」や「アイスホッケー」などのウィンタースポーツ活性化のための教室(172 事業 8,495 人)など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

#### (2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (131 事業 29,369 人)

各施設において、「体育の日無料開放」や「さっぽろスポーツ DAY\*」の無料開放(48 事業 17,708 人)をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるバドミントンや卓球、フットサルなどの多種多様なスポーツ大会、ダンス発表会やプールフェスタなどのイベント事業を開催した(42 事業 5,294 人)。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業(21 事業 2,584 人)やウィンターレクリエーション活性化のための大会、イベント(20 事業 3,783 人)を開催した。

\*さっぽろスポーツ DAY は、市民の皆さまが健康とスポーツへの関心を深め、スポーツや健康づくりのきっかけとなるよう、当財団 30 周年を契機に管理施設において、毎年 5 月 5 日を「スポーツ・健康づくりの日」として一斉に実施。

#### (3) スポーツキャラバン事業 (51 事業 3,129 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出しなどを行った。

ア イベント運営請負(地域イベントにおけるスポーツ体験コーナーの運営)3 事業 1,692 人

イ 出前講習会(民間企業などにおける体力測定の実施)1 事業 44 人

ウ 指導員派遣(地区センター、保健センターなどの講座への指導員派遣)22 事業 1,393 人

エ ニュースポーツ用具のレンタル(ストラックアウトなどのレクリエーション用具を市民に貸し出し)25 事業

#### (4) 歩くスキー常設コース事業 (2 事業 指定管理事業 白旗山 2,521 人/受託事業 中島公園 5,908 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

#### (5) ウォーキングステーション事業 (5 事業 12 コース 813 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟(IWW)のイヤーラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

### 4 健康・体力づくり相談事業 (611 事業 87,278 人)

#### (1) 指定管理事業 (65 事業 61,491 人)

ア 健康増進事業 (2 事業 1,258 人)

健康づくりに必要な健康状態を把握するため、「健康度測定」「体力測定」を行った。

イ 女性のフレッシュ健診（1事業 863人）

受診機会の少ない18歳から39歳までの女性を対象に健康診断・骨粗しょう症検診などを行った。

ウ 運動指導事業（58事業 56,550人）

市民の自主的な健康づくり活動の実践の場として、運動フロアにて運動器具の利用指導や「エアロビクス」「ストレッチ」などの自由参加プログラム、「ウォーキング講習」（31事業 55,484人）、個別運動指導（3事業 724人）などを行った。

また、各区の保健センターや豊平区体育館・厚別区体育館に運動指導員を派遣し、「ひざ腰すこやか運動教室」などの各種集団的運動の実践指導を行った（24事業 342人）。

エ 各種相談事業・人材育成研修（4事業 2,820人）

センターの利用者などに対する健康づくりや食生活に関する各種相談及び指導（2事業 2,754人）、地域の健康づくりを担う人材の育成を目的とした各種研修会を実施した（2事業 66人）。

(2) 受託事業（69事業 5,247人）

ア 健診事業（4事業 425人）

「特定健康診査」や「大腸がん検診及び緊急肝炎ウイルス検査」を行った。

イ 国保特定保健事業（積極的支援・動機づけ支援）（13事業 301人）

対象者が自主的に健康的な行動変容の方向性を導きだせるよう運動実践を取り入れたプログラムを提供した。

また、「運動お試し券」を持参した方に運動の目安や運動機器の操作などの個別運動指導を各健康づくりセンターのほか、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールで行った。

ウ 高齢者運動機能向上事業（52事業 4,521人）

要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者を対象に運動器の機能向上を目的として「転倒予防筋トレコース」や「ひざ痛・腰痛予防体操コース」などの運動プログラムを各健康づくりセンターのほか、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールで行った（47事業 317人）。

また、各区の事業従事者に対し研修会を通じて技術指導・助言を行うとともに、運動指導員を清田区保健センターに派遣し、運動プログラムやトレーニング機器の取扱い方法を指導した（5事業 4,204人）。

(3) 自主事業（477事業 20,540人）

ア 健康スポーツ・スポーツライフ応援事業（351事業 14,486人）

市民を対象に健康・体力づくりや運動能力の向上などを目的として各種教室や講習会を実施した。

(7) 運動指導教室

「ストレッチヨガ」や「ピラティス」、「ヒップホップ」など（212事業 5,893人）。

(4) 健康サポート教室

「脂肪改善教室」や「アロマ de リラクゼーション」、「お父さんのナイトフィットネス」など（101事業 1,827人）。

(ウ) 健診事業

「採用時健診」「フォローアップ健診」、「BNP検査」、「骨密度検査」など（7事業 940人）。

(E) 個別サポートプログラム事業・健康サポート教室（31事業 5,826人）

健康度測定受診者を対象とした個別サポートプログラム（メタボコース）や、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールにおける健康サポート教室等を実施した。

イ 子ども体力向上・高齢者健康増進サポート事業（52事業 1,070人）

子どもの体力・運動能力などの向上と高齢者の健康維持・促進や生きがいづくりを支援するため、プログラムと環境の充実を図った。

(7) 子どもの体力向上事業

「のびのびキッズ体育教室」や「幼児のからだあそび教室」など（23事業 482人）。

(4) 高齢者健康維持・増進事業

「介護予防筋トレクラブ」や「高齢者のための体力づくり教室」など（29事業 588人）。

ウ 派遣事業（57事業 2,811人）

保健センターや事業所・学校などへ専門スタッフを派遣し実践指導を行った。

(7) 運動指導員派遣事業

「厚別区保健福祉部健康・子ども課」「西区老人クラブ連合会」など（53事業 2,157人）。

(4) 保健師・管理栄養士派遣事業

「健康フェスタ 2015in ちゅうおう」「サッポロヘルス&ビューティ」など（4事業 654人）。

エ 地域貢献事業（17事業 2,173人）

地域住民を対象に、保健センターなどとの連携による健康づくりフェアなどを実施した。

(7) 体育の日特別開館や母の日無料開放、健康セミナーなど。

5 国際交流推進事業（177事業 7,093人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（22事業 4,341人）

札幌国際交流館において「世界ふれあいひろば 2015」や「ワールドスポーツフェスティバル」をはじめとする留学生のスポーツ交流会など、JICA や公益財団法人札幌国際プラザと共催で、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進する事業を実施した。

(2) スポーツ教室事業など（155事業 2,752人）

技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、テニス教室をはじめとする各種競技種目から「ベリーダンス」や「ZUMBA」など各国にゆかりのあるフィットネス教室などを開催し、継続的な運動の機会を提供した。

6 地域コミュニティ活性化事業（89事業 78,573人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携して「新さっぽろ冬まつり」や「手稲スポーツレクリエーション祭り」など地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした「水上安全無料講習会」や「防犯講習会」などの啓発事業を実施した（指定管理施設内：38事業 62,142人、指定管理施設外：51事業 16,431人）。

7 情報提供及び調査研究事業

(1) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した。（北海道新聞折り込み広告、ふりっぱー、北海道ランニングガイド、Shufoo!、FMアップルなど）。

(2) 財団広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」（Health & Sports Life：年4回、各10,000部）を発行した。

誌面には、札幌市を拠点に活躍するトップアスリートの特集インタビューを毎号掲載した。

ア 100号記念特別号～(株)北海道フットボールクラブ 代表取締役社長 野々村 芳和



イ エスポラーダ北海道 GM 兼監督 小野寺 隆彦

ウ 101号～リレハンメル冬季オリンピックスキー・ノルディック複合団体金メダリスト 阿部 雅司

エ 102号～ヒト・コミュニケーションズ red WINS 石垣 真央/井田 莉奈/石山 奈津子（カーリング）

オ 103号～JR 北海道バドミントン部 竹村 純

(3) 財団ホームページにおける情報の提供

ホームページのリニューアルを行い、スマートフォン及びタブレットなどの各種デバイスへ対応するとともに、教室検索機能や各種トピックス情報を充実し、誰もが見やすい情報提供を行った。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。（北海道新聞社主催～「プラチナスクール」他）。

8 スポーツ大会・イベントの開催(14事業 85,619人)

(1) 第38回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmコースを開催した。春の北海道を満喫するウォーキングイベント。

※平成26年9月に発生した記録的集中豪雨の影響により、コース（国道453号）の一部で路肩に土砂崩れが起き、一部歩道が通行不能のため、10kmのみで開催した。

開催日：5月24日（日）

会場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ

種目：10km

参加人数：1,149人

(2) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム2015

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：6月28日（日）

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195km リレーマラソン

参加者数：1,082チーム 9,304人

(3) 第40回記念札幌マラソン

北日本最大の市民ハーフマラソン大会。ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コース。

開催日：10月4日（日）

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他

種目：ハーフマラソン、10km、5km、中学生、小学生、ファンペア、車イス

参加者数：13,047人

(4) 第36回札幌国際スキーマラソン大会

国内唯一、世界的にクロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する大会として「競輪」の補助金を受け実施した。海外からも多くの申込を受け、国際色豊かな大会となった。

開催日：2月7日（日）

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km

参加者数：1,763人

(5) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

- ア 第19回北の都札幌ツデーウオーク（6月20日・21日）参加者数：2,649人
- イ 2015札幌30K（7月11日）参加者数：1,454人
- ウ 第40回札幌小学生陸上競技教室（8月2日）参加者数：178人
- エ 2015北海道マラソン（8月30日）参加者数：19,198人
- オ サッポロヘルス&ビューティフェア2015（10月24日・25日）来場者数：約15,000人
- カ 第6回北海道ハイテクAC札幌小学生陸上競技クリニック（12月20日）参加者数：59人
- キ ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山（2月7日）約2,100人
- ク 札幌市室内陸上競技大会（3月20日）参加者数：1,242人
- ケ 第10回とよひらおもしろスノーパーク（2月13日）来場者数：約1,500人
- コ 大通公園ウィンタースポーツフェスティバル（2月20日・21日）来場者数：16,976人

9 物品販売・貸付及び飲食店業

より効率的に収益率を高めるため、売店が廃止されたプール施設において、食品を取り扱う自動販売機を設置した。また、カーリング場においてオリジナルグッズを作成し、窓口にて販売を行った。

10 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー15大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

イ スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、「スポーツボランティアリーダー ライセンス更新講習」を開催した。

また、財団ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。

ウ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる「事業連携包括協定」を締結し、各種大会の運営に学生が携わった。北海道を歩こう、札幌マラソン、札幌国際スキーマラソン大会、北の都札幌ツデーウオーク、6時間リレーマラソン、札幌30Kの6事業に、計200人が従事した。

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「げんきキッズ教室」を8施設で実施した。

エ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

公益財団法人日本体育施設協会や順天堂大学などとの連携により、「体育施設管理士養成講習会（77人参加）」及び「スポーツ救急手当講習会プロバイダーコース（7人参加）」を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

オ プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ア) 北海道コンサドーレ札幌

a クラブパートナー契約の締結

b 協働事業として、通年で様々なスポーツ体験を行う「スポーツスクール in FU' S」を実施

(イ) エスポラーダ北海道

a オフィシャルパートナー契約の締結

b 中央体育館にて女子フットサルスクールを協働開催、その他 8 施設で SHSF フットサル教室を協働開催

(ウ) レバンガ北海道

協働事業として、バスケット交流戦（体育館グループ合同事業）を開催した。

カ 職員の派遣、役員就任など

一般財団法人札幌市体育協会へ職員（1名）、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会へ職員（5名）の派遣を行い、団体の活動を支援した。

また、「さっぽろグローバルスポーツコミッション委員」、「サッポロヘルス&ビューティフェア実行委員」、「第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会評議員」など、委員への就任による運営協力、「第44回全道少年野球大会」、「第11回豊平川市民マラソン」などのスポーツ大会の後援（60事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

キ 札幌市立大学と連携したスポーツイラストの制作

地域の高等教育機関への貢献と各施設で開催するスポーツイベント時に配布する印刷物のデザイン向上を目的に、札幌市立大学デザイン学科との連携事業として、スポーツイラストを制作した。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

関係団体との連携による河川敷清掃、植栽などの実施、ペットボトルキャップの回収（回収累計 16,671 キログラム）、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額 240,000 円）、札幌エコメンバーの登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

連合町内会及び警察署の協力による交通安全啓発運動（月寒体育館、どうぎんカーリングスタジアム、藤野野外スポーツ交流施設）、「地域住民向け振込詐欺予防講習」を開催するなど、地域における防犯活動を推進した。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整え、12月13日、白石区体育館にて、職員が心肺停止となった利用者を救命措置により救護した（白石消防署より感謝状が贈呈された）。

また、札幌市水上安全赤十字奉仕団との協働による「水泳安全講習会」、白石消防署水難救助隊との協働による「水上安全講習会」を開催するなど、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力した。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した（受け入れ件数：140件、延べ人数：862人）。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した（調達件数：12件）。

カ 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金（募金額：99,381円）及び東日本大震災復興支援募金（募金額：平成27年度分100,239円、累計1,646,320円）などに協力した。

キ 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

11 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	6,028,733
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,376,510
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	91,400
地域関係団体・機関との連携事業（指定管理施設外）	16,431
合 計	7,513,074

(2) 収支

収 入 4,302,253,358 円

経 費 4,110,746,563 円

12 処務の概況

(1) 平成 27 年度理事・監事・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
代表理事	三浦 英典	24. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	佐藤 時弘	24. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	伊藤 博昭	26. 7. 1	26. 7. 1	常 勤
理 事	星 満	25. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	村上 猛	25. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	廣原 克博	25. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	佐藤 照幸	25. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	川島 行雄	27. 6. 26	27. 6. 26	常 勤
監 事	山口 淳一	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
監 事	水野 克也	24. 7. 1	25. 4. 1	非常勤
評 議 員	川上 敏正	27. 7. 1	27. 7. 1	非常勤
評 議 員	川初 清典	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評 議 員	菊池 美由紀	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評 議 員	黒島 隆一	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評 議 員	西田 健一	25. 5. 1	25. 5. 1	非常勤
評 議 員	晴山 紫恵子	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤

## (2) 平成 27 年度末職員数

職種／性別	男 性	女 性	合 計
正 職 員	114 人	32 人	146 人
派 遣 職 員	1 人	0 人	1 人
嘱 託 職 員	67 人	50 人	117 人
臨 時 職 員	18 人	8 人	26 人
パート職員	191 人	418 人	609 人
合 計	391 人	508 人	899 人

## (3) 理事会・評議員会の開催状況

## ア 理事会

開催年月日	議事事項
第 1 回 平成 27 年 6 月 11 日	(1) 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告について (2) 第 2 号議案 平成 26 年度決算（監査報告）について (3) 第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告について (4) 第 4 号議案 中期経営計画の策定について (5) 第 5 号議案 平成 27 年度公益財団法人 JKA 補助金事業の交付申請の提出について (6) 第 6 号議案 平成 27 年度スポーツ振興くじ助成金交付内定に伴う誓約書の提出について (7) 第 7 号議案 職員退職金支給規程の改正について (8) 第 8 号議案 理事の任期満了に伴う新理事候補者名簿の承認について (9) 第 9 号議案 平成 27 年度第 1 回評議員会の開催について (10) 職務執行状況報告
第 2 回 平成 27 年 6 月 26 日	(1) 第 1 号議案 役職理事の互選について (2) 第 2 号議案 平成 27 年度収支予算の変更について
第 3 回 平成 27 年 9 月 10 日	(1) 職務執行状況報告
第 4 回 平成 27 年 10 月 26 日	(1) 第 1 号議案 パートタイム職員就業規程の改正について (2) 第 2 号議案 特定個人情報基本方針及び特定個人情報取扱規程の制定について
第 5 回 平成 27 年 12 月 9 日	(1) 職務執行状況報告
第 6 回 平成 28 年 3 月 8 日	(1) 第 1 号議案 平成 27 年度収支予算の変更について (2) 第 2 号議案 常勤役員報酬規程の改正について (3) 第 3 号議案 平成 27 年度第 2 回評議員会の開催について (4) 職務執行状況報告

第7回 平成28年3月29日	(1) 第1号議案 平成28年度事業計画について (2) 第2号議案 平成28年度収支予算について (3) 第3号議案 諸規程の改正について (4) 第4号議案 特定資産の取り崩しについて (5) 第5号議案 職務執行状況報告
-------------------	---

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
第1回 平成27年6月26日	(1) 平成26年度事業報告について (2) 平成26年度公益目的支出計画実施報告について (3) 中期経営計画の策定について (4) 第1号議案 平成26年度決算及び監査報告について (5) 第2号議案 評議員の選任について (6) 第3号議案 理事の選任について
第2回 平成28年3月29日	(1) 第1号議案 評議員の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	23年 3月期	24年 3月期	25年 3月期	26年 3月期	27年 3月期	28年 3月期
前期繰越収支差額	410,624	408,786	459,770	462,162	334,741	392,657
当期収入合計	4,231,050	4,127,843	4,294,470	4,512,097	4,694,791	4,805,457
当期支出合計	4,232,888	4,076,858	4,292,078	4,639,518	4,636,875	4,659,001
当期収支差額	△1,838	50,985	2,392	△127,421	57,916	146,456
次期繰越収支差額	408,786	459,770	462,162	334,741	392,657	539,113
資産合計	2,303,834	2,445,335	2,494,284	2,440,385	2,675,388	2,836,470
負債合計	1,165,834	1,250,947	1,302,849	1,395,591	1,582,015	1,624,669
正味財産	1,138,000	1,194,388	1,191,435	1,044,794	1,093,373	1,211,801

(5) 公認会計士の関与の有無

ア なし

イ 監査

ウ 依頼

エ 指導・相談